

令和2年度（第10期）
事業報告書

1. 顕彰事業
2. 助成事業
3. 保存記録作成事業
4. その他事業
(普及等)

1. 顕彰事業

(1) 第40回 伝統文化ポーラ賞

応募総数 106 件から、2 回の選考委員会を経て、8 件（団体含む）の受賞が決定した。

① 贈呈式

今年度は、コロナ感染拡大防止の観点から贈呈式は中止し、受賞者紹介の小冊子「第40回伝統文化ポーラ賞」を関係者に送付した。

② 受賞者

賞名	受賞者	対象となった内容
優秀賞	十二世 山階彌右衛門 (東京都)	能楽の伝承・振興
	西 勝廣 (石川県)	沈金の伝承・制作
奨励賞	杵屋 利光 (東京都)	長唄の伝承・振興
地域賞	会津漆器協同組合 (福島県)	会津漆器の伝承・振興
	太子漆保存会 (茨城県)	太子漆の保存・伝承
	天王寺楽所 雅亮会 (大阪府)	雅楽の保存・伝承
	田中 敏弘 (京都府)	手漉和紙の保存・伝承
	椎葉神楽保存連合会 (宮崎県)	神楽の保存・伝承

③ パブリシティ掲載（2021年3月16日現在）

新聞	新聞 7 社に掲載（計 11 回）朝日新聞、毎日新聞、福島民報、福島民友、茨城新聞、宮崎日日新聞、新美術新聞
雑誌	雑誌 1 社に掲載 美術の窓
WEB	33 社(団体)に掲載（38 回）@DIME、@Nifty ビジネス、All about News、BIGLOBE ニュース、Infoseek ニュース、JBpress、PRESIDENT Online、SEO ツールズ、ウレぴあ総研、エキサイトニュース、とれまがニュース、ニコニコニュース、現代ビジネス、産経ニュース、水戸経済新聞、フレッシュアイニュース、福島民報、47NEWS、goo ニュース、朝日新聞デジタル、毎日新聞、茨城新聞、プレみや、ORIKONNEWS、Yahoo ニュース、宮崎日日新聞

(2) 2021年度推薦申請受付(2月1日～3月31日まで)

- ・受賞者、文化人、専門家、都道府県の教育委員会や文化振興課、全国の博物館や美術館、工芸や芸能関連団体などに推薦依頼書(1,000件)を発送し、工芸24件・伝統芸能18件・民俗芸能46件・その他5件 合計93件の推薦書を受理。2回の選考委員会を経て、7月中旬に受賞者を決定する予定。

2. 助成事業

(1) 2020年度助成 5件 390万円

事業の名称・事業主体	事業概要	助成額
① 山田流箏曲楽譜の出版 東京都世田谷区 東京藝術大学音楽学部邦楽科 萩岡松韻	江戸中期から始まった歌曲に重きを置いた山田流箏曲は関東で伝承された江戸前の雰囲気を持つ箏曲である。しかし、伝承者が大変少なく、秘曲・稀曲の伝承が困難となりつつある。それらの曲を楽譜として残し後世に残していく。	70万円
② 第27回賢順記念全国箏曲祭 福岡県久留米市 一般社団法人 賢順記念全国箏曲祭振興会	近代箏曲の祖・諸田賢順を顕彰し、新進箏曲演奏家の発掘と育成を図り、平成6年よりコンクールを開催。本コンクールの賢順賞は、若手箏曲家たちの目標となっており、後進の育成を目指し、活動を続けている。	100万円
③ 竹田聴洲フィルム資料のデジタル化事業 京都府京都市 佛教大学 宗教文化ミュージアム	竹田聴洲が撮影した念仏系芸能フィルム資料は、京都の民俗芸能を考察するうえで重要な資料であるが、経年劣化が著しい。民俗芸能の継承・研究の深化に寄与するために、フィルム資料の修復処置とデジタル化を進め、アーカイブ公開を検討する。	90万円
④ 沖縄祭祀アーカイブスの活用に関する基礎的研究 ー写真家・比嘉康雄の写真と記録を対象にー 東京都稲城市 高科 真紀	写真家・比嘉康雄によって記録された沖縄祭祀アーカイブズを対象に、写真に写された地域の人々が主体となった「地域文化資源」としての活用を目指す。現代に継承できる祭祀の「かたち」を創出し、祭祀を軸とした地域の精神文化や地域共同体の再生に寄与する。	40万円

<p>⑤ 本「からむしの布」編集室</p> <p>福島県大沼郡 渡し舟 渡辺 悦子</p>	<p>福島県大沼郡昭和村で古くから手がけられている「地機による『からむし織』」。その魅力を出版を通じて広く伝え、「からむし文化」や技術を次世代に継承する。</p>	<p>90万円</p>
---	---	-------------

(2) 2021年度助成申請受付(2月1日～3月31日)

ホームページ上に募集要項を公開すると同時に顕彰事業案内にも助成申請を同封し、PRした。その結果、伝統工芸8件・伝統芸能9件・民俗芸能26件・その他2件の申請を受理した。2回の選考員会を経て、7月中旬に助成採択を決定する予定。

3. 保存記録作成事業

- 1) 狂言師・野村万作(重要無形文化財保持者)と野村萬斎、野村祐基の三代にわたる継承の姿を描き、現在まで伝承されてきた狂言を通して「何を伝えたいのか」に迫る内容。狂言の魅力幅広い層の方にも伝わるようにドキュメントタッチの映画とする。2020年5月から詳細な取材を行い、制作に着手、現在は、シナリオの校正と編集作業の段階。計画通り、進捗している。
- 2021年冬完成の見通し。その後、令和4年1月31日に完成試写会を行う予定。

4. その他事業

1) 普及活動

計画していた普及活動の多くは、コロナ禍の影響により、中止や延期を余儀なくされた。そのため新しい取り組みとしてWebを活用した情報発信(映像)を行った。

(1) 記録映画上映、ワークショップ

①一般社団法人日本民俗音楽会との共催事業(延期)

長崎明清楽保存会(1991年ポークラ賞)、中尾獅子浮立と唐子保存会(2018年ポークラ賞)公演とワークショップを開催(9月)する予定であったが2021年以降の延期となった。

②岡山県奈義町教育委員会との共催事業(中止)

地域の伝統文化の保存、普及を目的に地域住民にその魅力を伝える活動を行う(2月)予定であったが、中止となった。

(2) 次世代へ向けた普及活動

①帝京大学特別出張事業及びワークショップ

財団在籍の学芸員による「伝統文化の魅力と果たす役割」が理解できる講義を週1回(4月～1月)まで開講。主にリモート講義が中心となったが、若い世代に伝統文化の魅力を理解してもらうことができた。ワークショップは中止とした。

(3) その他の普及活動

①40周年記念展縮小展示(中止)

昨年度、好評であった「無形にふれる(ポークラ伝統文化振興財団設立40周年記念展)」の縮小展示(4月)を行う予定であったが、中止とした。

②第32回すかがわ国際短編映画祭出品(延期)

復興支援の観点から継続的に弊財団の記録映画を提供、上映してきたが、映画祭延期(当初計画では令和3年1月30日～31日開催予定)に伴い、弊財団の上映も中止となった。

③記録映画(DVD)の貸し出し

弊財団制作の記録映画(DVD)を大学や文化施設などの団体、一般の個人の方にも無料貸し出しを行い、活用促進を図った。

・映画貸出状況

(3月31日現在)

種別	2020年度	2019年度	前年比較
35ミリフィルム	0本	0本	-
16ミリフィルム	0本	0本	-
VHS	2本	11本	▲9本
DVD	136本	180本	▲44本
合計	138本	191本	▲53本

・貸出先

	2020年度	2019年度	前年比較
団体	68本	96本	▲28本
個人	70本	95本	▲25本
合計	138本	191本	▲53本

・記録映画 (DVD) の団体への貸出明細 (上映会形式のみ)

	定期 開催	貸出先	回 数	作品 数	上映月()内は鑑賞者数 *印は入場者数
1	☆	あま市七宝焼きアートヴィレッジ	5	5	7・9・11・1・3月(123名)
2		静岡市立芹沢銈介美術館	1	1	7～11月(*515名)
3		会津大学短期学部デザイン科	1	2	7～8月(16名)
4		綿の実(市民団体)	1	2	9月(18名)
5		千葉大学(工芸概論講義)	1	20	10月(65名)
6	☆	「第67回 日本工芸展 岡山展」	1	1	11月(*3705名)
		鑑賞者数合計	10	31	4,442名(入場者数も含む)

④日本ケーブルテレビ連盟へのコンテンツ貸し出し

全国のケーブルテレビ局で弊財団の記録映画が放映できるようにコンテンツを提供(ただし、使用許諾関係をクリアできた3作品のみ)

- ・「伊那人形芝居-明日へつなぐ伝承のチカラ-」(日経映像)
- ・「加賀象嵌 中川衛 美の世界-新たな伝統を創る-」(毎日映画社)
- ・「蒔絵 室瀬和美 時を超える美」(毎日映画社)

⑤「椎葉神楽『伝統文化ポーク賞受賞』記念公演(宮崎県との共催)

宮崎県総合政策部国民文化祭・障害者芸術文化祭課記紀編纂記念事業推進室と共催し、「椎葉神楽『伝統文化ポーク賞受賞』記念公演(令和2年12月22日)を開催した。

当日は、県知事と弊財団理事長による文化振興に関する対談のほか、伝統文化ポーク賞(地域賞)の贈呈セレモニー、記念の神楽公演を行った。

2) 機関誌『伝統と文化』発行

年一回発行し、普及活動に活用する他、文化事業関連団体や文化振興イベント等で配布。

①機関誌『伝統と文化』44号発行（令和3年3月）

◇特集記事：「東京に華咲く江戸文化」

②配布・寄贈

- ・全国の文化関連施設、自治体の文化振興関連に2000部配布。

3) SNS (Web) での活動

(1) ホームページの状況

① 訪問者数 (3月末現在)

	2020年度	2019年度	対前年比
訪問者数	65,963PV	80,150PV	82.3%

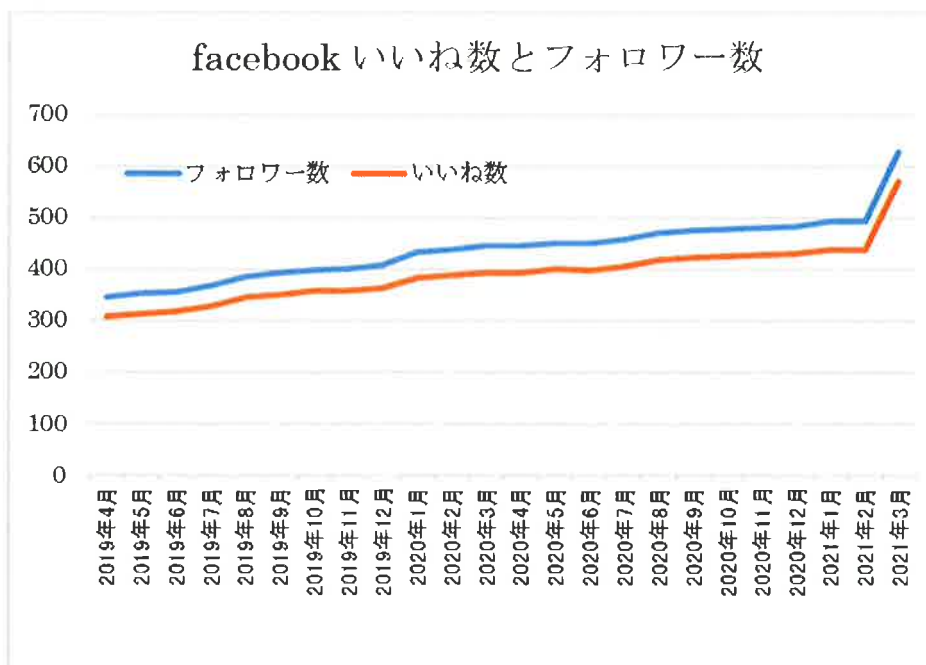
(2) Facebook を強化

コンテンツ充実化を図り、「読んで楽しめる。知って納得する。知識を共有したくなる」投稿として、以下の発信を行った。

- ・「記録映画の映画解説」の連載(毎月10・25日)
- ・財団や財団関係者(受賞者・助成先等)の活動報告
- ・財団設立40周年関連の情報発信
- ・見栄えのする写真投稿、新たな試みであるインタビュー動画投稿

上記取り組みにより、3月末時点のフォロワー数は627件と着実に増加。

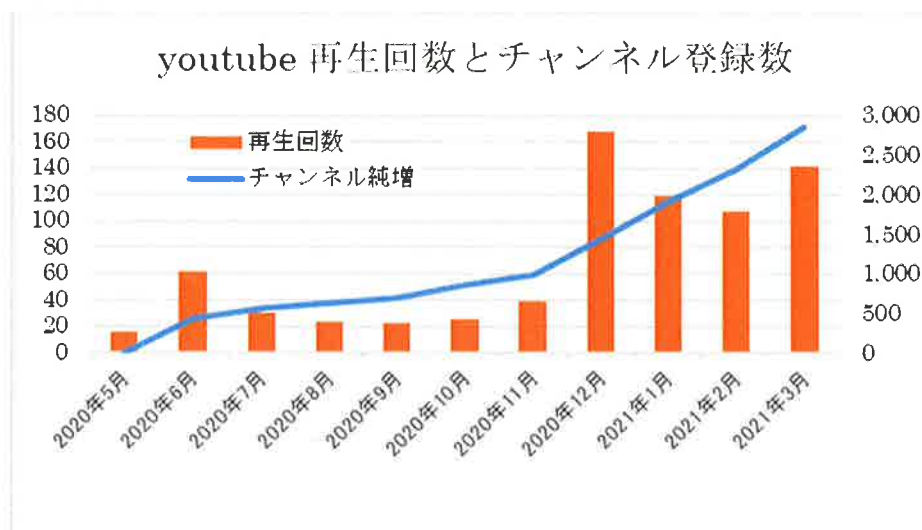
本年度より開始した伝統文化ポラ賞の受賞者紹介記事は好評であり、特に民俗芸能の記事に反響があった。



(3) Twitter・Youtube

Twitterは、2021年1月より発信を開始。伝統文化に纏わる用語の解説を主軸に、財団の情報や受賞者・助成者等のイベント・展覧会情報を発信。Twitterでは他に類を見ない切り口の情報となっており好評。現在フォロワー数69名。

Youtubeは、2021年5月から配信を開始し、再生回数、チャンネル登録数は着実に拡大傾向。



(4) 40周年サイトの公開

「無形にふれる（ポーラ伝統文化振興財団設立40周年記念展）」にて展示のご協力をいただいた方、団体の情報をインタビュー等も交えて、新たに編集を行い、通常の財団ホームページとは違った角度で、伝統文化関連の情報を限定的に発信した。（2020年4月～2021年2月）

5. その他の活動

1) 後援事業・協賛・協力

<後援>

①第24回全国公募陶芸財団展（主催：（公財）陶芸文化振興財団）

・6月24日～7月5日 国立新美術館

②第23回地歌箏曲 福田栄香の会（主催：福田栄香）

・11月26日 紀尾井小ホール

<協賛>

- ①第 67 回日本伝統工芸展（主催：公益社団法人日本工芸会、文化庁ほか）
・ 9 月 16 日～9 月 28 日 日本橋三越本店

- ②伝承ホール民俗芸能公演 ー淡路人形座ー（主催：渋谷区文化振興課）
・ 2 月 24 日 渋谷区文化総合センター大和田

<協力>

- ①古典の日 渋谷金王丸伝説（主催：渋谷区）
・ 11 月 1 日 渋谷区文化総合センター大和田

6. 当財団情報メディア掲載状況（3月31日現在）

WEBでの掲載が増加。それに伴い、広告換算金額も大幅に増加。

		新聞	TV	雑誌	WEB	合計
2020 年度	掲載数(回)	53	2	3	41	98
	換算金額(万)	1,883	132	107	3,441	5,466
2,019 年度	掲載数(回)	44	4	5	15	68
	換算金額(万)	608	121	126	1,422	2,227

以上

令和 2 年度（第 1 0 期）事業報告

令和 2 年度（第 1 0 期）事業報告には、「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施工規則」第 3 4 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成していません。

令和 3 年 5 月
公益財団法人
ポーラ伝統文化振興財団